

◆ 「暑い！」年末を迎えております。

富山のみなさんこんにちは。第3アリアンサでの生活も残り2ヶ月となりました。家族やSNSなどから富山の様子を聞きますが、今年はいつもよりも早く雪が降っているようですね。今年はホワイトクリスマスを迎えることができたのではないのでしょうか？毎日寒い富山だと思いますが、ブラジルは夏に突入しました。季節を問わず暑いですが、夏になると毎日気温が30度半ばになり、日差しもとても強いです。雨も頻繁に降るので、日本のように蒸し暑い日もあります。2017年も残すところあと数日となりましたが、この暑さのせいで全く年末だという実感がありません。

日本語学校は12月中旬から夏休みに入りました。元気一杯の子どもたちに会えないのは少し寂しいですが、この貴重な休み期間を無駄にしないように過ごしたいと考えております。年末からは友人とサンパウロマラソンに参加し、その後各地を旅行する予定にしています。気分転換が主な目的ですが、それだけで終わらないように各地の様子などを帰国後に生徒たちに伝えられるように意識して過ごしたいと考えています。日本ではあまり知られていない南米の様子にもっと興味を持ってもらえたらと思います。

それでは、今月の出来事を写真と共に紹介していきます。

◆ 日本語能力試験 12月3日（日）

パラナ州のロンドリーナという大きな街で日本語能力試験が行われました。これまでの学習の成果を発揮する最大の機会、どの生徒も一生懸命に勉強をして臨みます。第3アリアンサは日本語学習を始めたばかりの子どもが中心なので、今回は受験せず、私だけが第1、第2アリアンサ、ミランドポリス校の生徒と先生たちに同行させていただきました。

ロンドリーナはバスで約6時間離れた街で、試験は午前9時頃から



始まるため、出発は前日の深夜0時というなかなかハードなスケジュールでした。道も



日本のように綺麗ではないので、バスの揺れがかなりあります。そんな過酷な環境の中でも生徒たちは合格に向けて全力を尽くしていました。試験後はすごくホッとした様子で、どの生徒も「漢字が難しかった。」と言っていました。

試験後はみんなが心待ちにしていたショッピングモールでの買い物。田舎の生徒はなかなかこのような大きなモールに行くことは

ないので、ものすごく嬉しそうな表情がそれぞれの生徒から見られました。

◆ ナタウの集い 12月17日（日）

第3アリアンサの会館でナタウの集いを行いました。「ナタウ」というのはポルトガル語でクリスマスを意味する語です。この日を祝う言葉も「メリークリスマス」ではなく「フェリースナタウ」と言います。保護者会の方々にクリスマスツリーを用意していただき、ステージ上もいつも以上に華やかになりました。食事は婦人会を中心に肉や焼きそばなどの美味しい料理を用意していただきました。日本語学校の子もたちは先日のお話発表会の題目、歌、ダンスを発表しました。練習時間があまり取れなかったため、どうなるか心配でしたが、どの子もお話発表会よりも発表が上手になっており驚きました。ダンスは「ラーメン体操」を披露しました。この体操は



JICA 隊員の中でブームとなっており、いろいろな行事で私自身も紹介してきました。今回はただ体操を披露するだけでは面白くないと思い、村のみなさんにも参加してもらうことにしました。思った以上にみなさん楽しんで取り組んでくれ驚きました。行事の最後はみんなでビンゴをしました。当日まで打ち合わせもほぼ無く、行事が成立するかとても心配でしたが、今年最後の行事を村のみなさん全員と楽しく過ごすこと



ができて良かったです。